

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム愛
日付	平成17年9月9日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での看護業務歴33年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年
	病院での相談援助業務歴31年、家族介護歴13年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<p>・拘束・束縛のない温かい介護を目指すという理念と信念に基づき、質の高いケアが提供されています。また、どの職員の表情も明るく、入居者の表情も穏やかに感じられました。</p> <p>・スクリーンや大型パナマテレビが設置されていて、入居者は映画やビデオ鑑賞を映画館にいるように楽しむことができる環境です。</p> <p>・建物内の中心部分に広い共用スペースが配置されており、職員は入居者と共に過ごしながら、居室で過ごす入居者への目配り・見守りもできるようになっています。</p> <p>・台所は、残飯をダストシュートから処理機へと一気に片付けることができ、また、殺菌水の装置も設置されるなど衛生面への配慮が行き届いています。浴室は広く、掃除が行き届いており、清潔に感じられました。</p> <p>・経営者はグループホームの運営に関して必要なこと、改善策などの意見はすぐに取り入れ対応するよう努力しており、職員が働きやすいように、入居者が過ごしやすいようにとの気配りが感じられました。例えば、最近円背になって座高が低くなった入居者には、低めのテーブルが準備され、食事が摂りやすいように配慮されていました。</p>
特に改善の余地があると思われる点
<p>・調査員と職員との会話の中で、入居者や職員のことを「愛称・ちゃん付け・呼び捨て」で話されていました。親しみは伝わってきますが、外来者の前ではふさわしくないと感じましたので、改善が必要ではないでしょうか。</p> <p>・夜間徘徊や、トイレ以外の場所に放尿される方の居室のドアに、センサーが取り付けられていました。現在のところ十分な見守りもできていると感じられましたので、身体拘束の観点からもセンサーを除去されてははいかがでしょうか。</p> <p>・有資格の介護職員は必要な研修を受けられていますが、認知症や介護に必要な知識の吸収のため、資格のないアルバイトの介護職員にも研修の機会を提供されること、また、研修に参加した職員は書面などで内容を伝達する仕組みをつくられてははいかがでしょうか。</p>

運営理念

番号	項目	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。			
	<p>・入居者一人ひとりが思い思いにゆったりと過ごせるよう、堅苦しくなく、束縛のない温かい介護を目指されています。</p> <p>・入居者の個性を大切に、それぞれが持てる力を発揮し、できることに参加できるよう支援されています。</p>			

生活空間づくり

番号	項目	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周や空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。			
	<p>・ホームでの生活は、「各人バラバラのようだけど、それで良い。」という職員の言葉のとおり、決められたスケジュールではなく、入居者一人ひとりが思い思いにゆったりと過ごせるようになっています。</p>			

ケアサービス(つづき)

番号	項目	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	身体機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。			
	<p>・入居者と個人的な話をするときや、職員同士で入居者の話をするときには、他者に内容が漏れないように、場所や声のトーンに配慮しています。</p> <p>・居室へ出入りする際は、必ずノック、声かけをして、同意を得ており、プライバシーの保護に配慮しています。</p> <p>・便で失敗した後などは、入居者も気にされ、しょんぼりしていますので、他者に気づかれないような配慮をしています。</p>			

ケアサービス

番号	項目	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

運営体制

番号	項目	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
	<p>・感染症の流行の季節には、うがい・手洗いを励行するなど、健康面に配慮しています。</p> <p>・転倒・骨折を予防するためのマニュアルを作り、認識を深める努力をされています。</p> <p>・経営者は、毎日現場で入居者や職員に目配りをし、声に耳を傾けています。問題発生時には、率先して解決策を検討し、即座に対応されており、入居者や職員から厚い信頼を受けています。</p>			